# 令和８年度　第７回豊田市藤岡南地域会議　　議事録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日時 | 令和８年１０月２７日（火） | 開会 | 閉会 |
| | | １８時５９分 | ２０時４０分 |
| 会　　場 | 藤岡南交流館　多目的ホール | | |
| 出 席 者 | 委　　員　１５名出席<br>藤岡支所　山田支所長、成瀬担当長、内野主事<br>山田市議、武田市議、伊藤交流館長 | | |
| 次　　第 | １　「豊田市民の誓い」唱和<br>２　開会<br>藤岡南地域会議会長あいさつ<br>３　議事<br>ヒアリングに向けた準備について<br>４　報告<br>委員からの報告（各団体の活動など）<br>５　事務連絡 | | |

**■議事（要約）**

第７回藤岡南地域会議　定例会

**３　議事**

**ヒアリングに向けた準備について**

２つのテーマについて、ヒアリングに向けた「課題の仮説（誰が、どのようなことに困っていそうか)」と「目指す姿（どのような地域になればよいか)」を検討した。今回出た意見をもとに、「何を聞くか（質問内容)」と「誰に聞くか（質問先)」の案を次回までに考え、持ち寄って検討することとした。

**テーマ①「見守りとささえ合いを育む環境づくり」**

**【整理結果】**

- **誰が・場面**：見守りの担い手、高齢者・独居世帯、登下校時のこども、ご近所付き合いの希薄化、登下校時の旗当番消失
- **困り事**：近所の入院や不在情報の把握が難しい、不審者情報への不安、登下校時の見守り活動などボランティアへの参加方法が分からない、下校時のこどもの孤立
- **目指す姿**：顔見知り同士で見守り合える関係をつくる

**【参考：主な意見】**

- 見守りには様々な世代を対象としたものがあり、すべてを対象にすると範囲が広すぎる。対象を絞るかどうか検討が必要ではないか。
- 独居の高齢者には、近所の見守りが重要である。隣の独居の方が、近所に何も告げずに入院していた例がある。昔のような近所のつながりが薄れていることが背景にあるのではないか。

・見守りを引率する高齢者が昔より減っているように感じる。ボランティアをしたくても、参加する方法を知らない人が多い。参加しやすい仕組みがあるとよい。
・登校時の見守りは見かけるが、下校時はほとんど見かけない。下校時間がそろわず、見守りが難しいのではないか。
・中山小学校には、登下校時の見守り隊があり、活動に対する保険もある。以前はPTA による活動もあった。
・登校時には、クマやイノシシなどの獣による危険も考えられるため、大人が引率する仕組みがあるとよい。
・地区によって状況が異なる。人数が少なくバス通学の地区もあれば、そうでない地区もある。中山小には通学団がなく、集団下校がばらばらになっている。
・下校時に、保護者が自分のこどもに付き添って帰る姿が見られる。
・小学生にあいさつをしても、返してもらえないことがある。
・見守りたい気持ちはあっても、活動できない人がいる。その思いや相談の受け皿が必要であり、団体に入りやすい環境づくりが求められる。

**テーマ②「自治区間連携強化による、持続可能な地域防災体制の構築」**

**【整理結果】**

・**誰が・場面**：自治区民、家族、独居の方、避難行動要支援者、家族の安否が分からない場面、防災訓練不参加者
・**困り事**：避難が困難、困っていても助けを求められない、支援の受け方が分からない、災害時に起こる想定外の事態への対応
・**目指す姿**：自助から共助へとつながる人との関わり方、各自が地域の災害情報が収集できる状態

**【参考：主な意見】**

・LINE は多くの人が使っているが、使っていない人には直接声をかけるなどの対応が必要ではないか。
・自治区の防災の取組を担っている人は有事の際の動きなど分かっているが、防災訓練などに参加していない人は、有事の際にどう動けばよいか分からず、正しく行動できないのではないか。
・地域内には内水氾濫が起こる場所もある。
・災害時はまず家族の心配が先にくる。自分、そして家族の安全確認ができてから他の人のことを考えることができる。自助があって共助が成り立つ。
・自治区の平均年齢など、自治区長は把握しているが、一般の住民は知らないこともある。高齢者が多い自治区は、警戒レベル３程度でも積極的に避難してもらう必要がある。各事情に合わせた、自治区単位の避難基準のようなものがあってもよいのではないか。
・災害直後だけでなく、しばらくは水道や電気が止まる。動けない人への供給支援手段を考えていくべきではないか。

・災害時、防災ラジオがあれば、地域の情報を正しく収集できる。防災ラジオの普及を高めるべきではないか。
・地域内にある企業と災害協定を結び、災害発生時の支援を迅速に行える協力体制を整える必要があるのではないか。

【今後の開催予定】
第８回地域会議（１１月２４日（火）午後７時から藤岡南交流館　多目的ホール）